

事務事業評価表(既存事業)

コード 2-7-1	事務事業名 東分庁舎改修工事	所管部課 総務部保谷庁舎管理課
--------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 東分庁舎の屋上防水工事を実施することにより、庁舎の耐久性を向上させるとともに、より快適で有効的に活用することを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)協働で拓くまちづくり (施策)健全な自治体経営の推進(協2-3) (主要施策)田無庁舎・保谷庁舎の整備
	実施内容、実施方法 平成2年7月の竣工以来、初めて東分庁舎の全面的な防水改修工事を実施する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 改修に伴う雨漏り補修件数	活動指標の考え方(定義) 改修工事の際に行った雨漏り補修の件数
	成果指標名 改修計画に対する達成率	成果指標の考え方(定義) 改修計画に対する達成率(適正な計画進行を目標とする)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	9,335	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源				9,335		
	所要人員(B)	人			0.02		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	167	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	9,502	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(改修に伴う雨漏り補修件数)	千円	0	0	1,584		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	件			6	
		実績値	件			6	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	%			100		
	実績値	%			100		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 2-7-1	事務事業名 東分庁舎改修工事	所管部課 総務部保谷庁舎管理課
--------------	-------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	工事前は大雨が降ると、雨漏りやカビが発生していたが、工事後はこれらの問題が解消された。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input checked="" type="checkbox"/> かなり減少	改修工事が遅れると、雨漏りやカビの発生等の問題がより進行し建物の耐久性にも影響が生じるため必要であった。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	・ 適正な進捗が出来た。 ・ 工事に関する委託契約においても適正なコストであった。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	同一管理敷地内の保谷庁舎、防災センターに比較しても維持管理のための補修が必要であった。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	長期的な計画は今後の課題としながらも、当面、全面的な防水補修工事の必要はない。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。